

令和元年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【1年目】

P T A名	静岡県立浜松聾学校 P T A
学 校 名	静岡県立浜松聴覚特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input type="checkbox"/> 高等部

1. 使用状況

寄贈物品名	スタンドブロック
使用学年及び人数	幼稚部 7人
使用頻度	毎日
使用状況	<p>現在は、げきあそびに入ったので、毎日使っています。写真は、背景となる街並みの段ボールの固定をしています。段ボールが安定するので、倒れることなく子どもにも安全で、子どもが自分で持ち運びや設置ができます。クラスで行うげきごっこでも大活躍しています。げきごっこ以外でも、場を仕切る、場を作る(おみせやさんごっこ、おうちごっこ、飛行機の中など)など、多岐にわたり使わせていただいています。</p>
物品の使用による変化や効果	<p>簡単に設置できるため、子ども自ら設営をすることができます。そのため、そのときの思いで、自由に動かしあそびを展開させていくことができます。また、間仕切りとして、背景として使えることで、子どもがよりイメージを広げてあそぶこともできます。子どもたちも、より生き生きとあそんでいる様子が見られるようになりました。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>今後も、同様に使っていくことで、子どもたちのあそびを充実させていきたいと考えています。また、本来の使い方ではないかもしれませんが、コロナ禍での間仕切りのように特徴を生かした使い方も工夫していきたいと思っています</p>
その他希望や所感など	<p>どうしても学校予算が削減されていく中、希望が通らない場合があります。また、経年劣化による買い替えの時期にきているのも事実です。苦しい台所事情のところ、このように買っていただくことができ、とても感謝しています。我がままかもしれませんが、今後も続けていただくと、ありがたいです。</p>

2. 活用の様子

